

京丹後市立宇川小学校 沿革史

- 昭和50年 4月 丹後町立上宇川小学校・下宇川小学校・下宇川小学校袖志分校・竹野小学校此代分校が統合、丹後町立宇川小学校として発足（児童数296名・12学級・教職員21名）
- 同年 9月9日 宇川小学校落成式 21日 体育館開き、昭和51年2月庭園完成
※児童文集『うかわ』とPTA機関紙『燈台』1号の発行
- 51年11月 宇川地区町民運動会 本校グラウンドで初めて実施
- 52年 5月 昭和51年の飼育小屋・観察池に続き、野外照明施設完成
※郷土資料室等、精力的な教育環境の基盤づくりが行われる。
- 53年 9月 自校炊飯方式による米飯給食の実施（米飯週1回）
- 54年 9月 米飯給食（米飯週2回）・校門前に点灯式信号機新設
※同年3月に校歌発表会（作詞 戸根道生・作曲 今西謙吉）
- 57年 7月 プール完成（25m×16m・6コース+低学年スペースを持つ400m²）
- 59年 4月 学区変更のため此代地区児童、竹野小学校へ転校
- 12月 宇川小学校10周年記念行事
- 63年 7月 第43回国民体育大会炬火リレーに5・6年児童参加
- 平成元年 4月 障害児学級開設
※京都府教育委員会より教育実践推進校（国語科）の指定を受ける
（平成元年～2年）
- 2年 4月 京都府社会福祉協議会より児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校の指定を受ける。（平成2年～4年）
- 6月 全学年を対象にしたスポーツテストが実施される。
- 3年 3月 虎杖小学校廃校、本校に統合
- 11月 校門付近に防球ネット設置
- 4年11月 第1回丹後地方小学生駅伝競走大会（途中ヶ丘）優勝
- 5年 4月 京都府教育委員会より教育実践推進校（学校給食）の指定を受ける。
（平成5年～6年）
- 7年11月 丹後音楽フェスティバルに4・5年生が参加
- 8年 1月 環境教育の一環として重油回収作業に5・6年生が参加
※日本海沖にて、タンカー座礁・大量の重油が流出
- 10年 3月 情報教育充実のため、コンピュータ21台が設置される。
- 6月 プール改修
- 14年 4月 京都府教育委員会指定ふれあい推進事業（平成14・15年度）
京都府小学校教育研究会生徒指導研究協力校の指定を受ける。
（平成14・15年度）
- 15年10月 京都府教育委員会指定ふれあい推進事業フォーラム体験発表会
（於 宇川中学校）
- 11月 第12回丹後地方小学生駅伝競走大会（途中ヶ丘）2度目の優勝
- 16年 4月 丹後6町合併、京丹後市誕生により京丹後市立宇川小学校となる。
- 7月 校舎及び体育館大規模改修着工
- 10月 文化庁舞台芸術事業実施

- 1 1 月 京丹後市音楽フェスティバル参加（全校）
- 1 7 年 4 月 校舎及び体育館大規模改修完了
- 2 1 年 4 月 平成 2 1 年度京丹後市教育委員会より「教育実践モデル校」の指定を受ける。
- 9 月 自然公園ふれあい全国大会（常陸宮同妃両殿下ご臨席）
誓いの言葉（京丹後市代表 6 年 大下裕也）
オープニングセレモニー参加（6 年全員 1 9 名）
- 1 1 月 京丹後市音楽フェスティバル参加（4～6 年）
- 2 2 年 4 月 平成 2 2 年度京丹後市教育委員会より「教育実践モデル校」の指定を受ける。
- 2 3 年 4 月 平成 2 3 年度京都府教育委員会より「京の未来創造校」（小中連携事業）の指定を受ける。（平成 2 3・2 4 年度）
- 2 4 年 1 1 月 京都府教育委員会指定「京の未来創造校」（小中連携事業）研究発表会
（於 宇川中学校）
- 2 8 年 4 月 丹後学園として小中一貫教育実施
- 1 1 月 京丹後市音楽フェスティバル参加（全校）
- 2 9 年 1 0 月 第 7 回京都府へき地・小規模校教育研究大会丹後大会（於 宇川小学校）
- 3 0 年 1 0 月 第 6 7 回全国へき地教育研究大会京都大会
第 3 3 回近畿へき地教育研究大会
第 8 回京都府へき地・小規模校教育研究大会 開催（I 分科会場）